

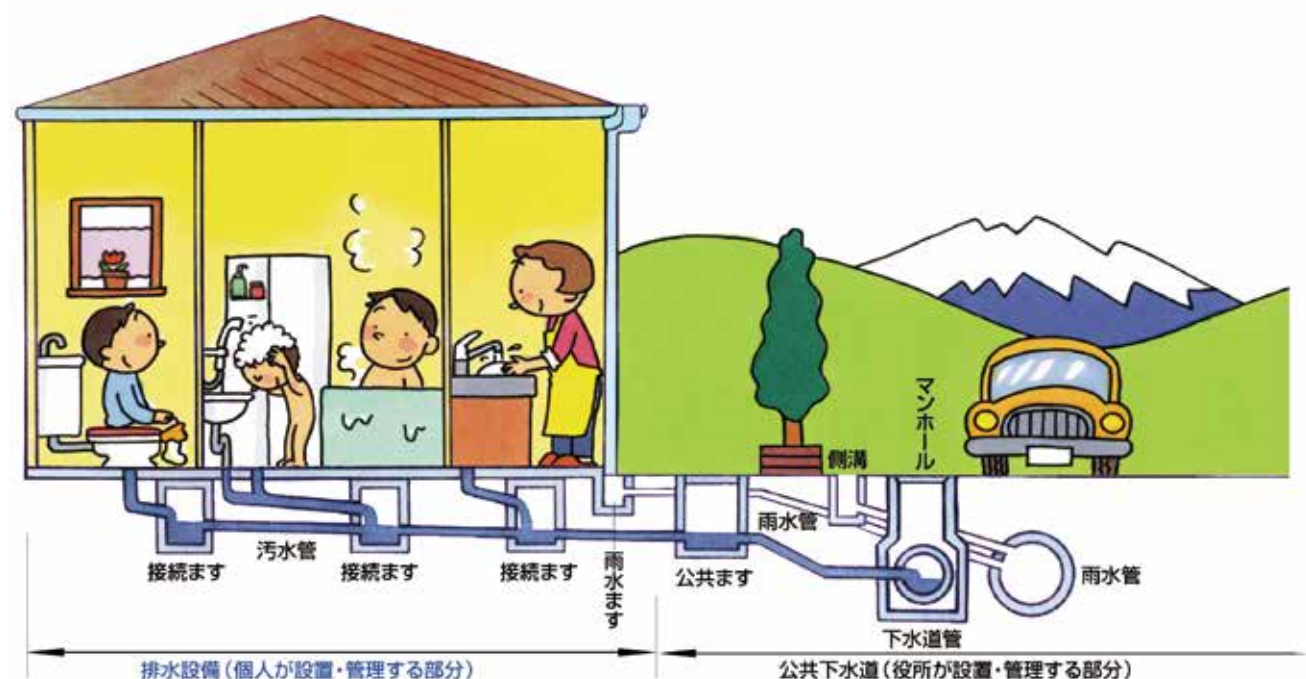
生活環境・海を守れ!! 急げ!! 生活排水処理施設整備

恩納村の汚水処理普及率76%!! (平成28年度末現在)

近隣 4 市町村との比較

金 武 町	100%	読 谷 村	61%
宜 野 座 村	100%	名 護 市	68%

※ 合併処理浄化槽を含む。



社団法人 日本下水道協会：提供

【 恩納村の汚水処理のイメージ図 】

【 汚水施設の種類の 】

下水道法以外 の 処 理 施 設	ア、農業集落排水処理施設 (※恩納村採用)	
	イ、漁業集落排水処理施設	
	合併処理浄化槽	ア、個人型 イ、市町村設置型

【用語解説】

注 1 普及率

地区内で、どれだけの人利用できる環境にあるかを示す比率です。

注 2 水洗化率

地区内で、どれだけの人実際に下水道を利用しているかを示す比率です。(※接続率が低いと、経費回収率も低くなり事業経営への影響がでてきます。)

記事担当 平良 幸夫

完成は、平成37年度予定!!

恩納村の生活排水事業は、平成13年度に喜瀬武原地区からスタートし、25年目の平成37年度の恩納第3地区、名嘉真地区で完成予定です。(国の財政状況により、遅れることがあります。)

総事業費:127億3,370万円

恩納村は国内有数の観光地ではありますが、汚水処理事業は他市町村に比べ、遅れてスタートしています。

村内には、合併処理浄化槽の約8倍の汚濁量があるといわれている単独処理(し尿処理)浄化槽が460基設置されており、事業の推進が急がれます。(他に、合併処理浄化槽が572基設置されています。いずれも平成29年3月現在)

村は「サンゴの村宣言」をし、サンゴの保護育成を図っていくということからも、環境への負荷を減らす様々な施策を講じる必要があります。

【 恩納村の現状 】

No.	地 区 名	No.	地 区 名
1	喜瀬武原地区 	2	山田地区 (真栄田・塩屋・宇加地) 
	注1 普及率99.1% 注2 水洗化率94.6%		注1 普及率96.4% 注2 水洗化率77.9%
3	恩納第1地区 (恩納区の一部・南恩納区) 	4	恩納第2地区 (恩納区の一部・谷茶区・太田区・瀬良垣区・安富祖区) 
	注1 普及率95.0% 注2 水洗化率14.3%		現在工事中
5	恩納第3地区 (仲泊区・前兼久区・富着区) 事業採択準備中	6	名嘉真地区 事業採択準備中

※注1、注2については、3ページの用語解説をご覧ください。